

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう 2022 年度秋季入学試験の変更点

一橋大学大学院言語社会研究科

2021 年 7 月 28 日

新型コロナウイルス感染症拡大の情勢を踏まえ、2022 年度秋季入学試験では以下のとおりの対応を行います。

修士課程秋季入試では、原則として国立キャンパス試験場で、十分な換気を行うなど感染症拡大防止策を取った上で第 1 次試験（筆記試験）および第 2 次試験（口述試験）を実施します。受験者は、マスクを着用して来学してください。

●修士課程第 1 部門および第 2 部門入学試験

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下記（1）～（3）の理由で第 1 次試験（筆記試験）もしくは第 2 次試験（口述試験）を受験することができない場合は、速やかに（遅くとも試験当日の試験開始時刻までに）メールにて、言語社会研究科事務室に連絡してください。検定料の返金の可否、もしくは代替措置の実施の可否を検討します。

- （1）法令等に基づく命令、要請等により日本国へ上陸及び移動が制限された場合
- （2）新型コロナウイルスに感染し、治癒していない場合、または新型コロナウイルスの濃厚接触者と認められる場合
- （3）37.5 度以上の発熱等の体調不良がある場合

●第 1 次試験（筆記試験）当日の対応

- （1）受験当日、検温を行います。間隔をあけて、順番に検温を受けてください。

37.5 度以上の発熱を確認した場合は、今回の受験をご遠慮いただくこととなります。その場合、代替措置を講ずる予定です。

また、37.5 度未満の発熱や、咳・のどの痛み・下痢の症状がある場合には、当日の別室受験とする予定ですが、症状が重いと判断される場合などには、代替措置を講ずる予定です。

なお、事前に上記のような症状がある場合には、新型コロナウイルス感染症の可能性も否定できないことから、代替措置の可否の検討を行います。速やかに（遅くとも試験当日の試験開始時刻までに）メールにて言語社会研究科事務室に連絡してください。ただしこの場合には、試験当日の日付を含む医師の診断書を後ほどご提出ください。

- （2）試験会場の建物への入館を開始する時刻は以下の通りです。最初に受験する科目の時刻をご確認ください。

第 1 部門の第二外国語：8 時 30 分

第1部門の第一外国語および第2部門の外国語・日本語：9時50分

両部門の論文：12時50分

なお検温の前には入館することができず、控室も用意しておりません。一旦検温が済んだ受験者は、印を付けた受験票を示すことで入館が可能です。外出する場合には必ず受験票を持参してください。

●第2次試験（口述試験）当日の対応

受験当日、検温を行います。面接試験時間の30分前に、試験会場の建物にお越しください。

37.5度以上の発熱を確認した場合は、当日の受験をご遠慮いただくことになります。その場合、代替措置を講ずる予定です。

また、37.5度未満の発熱や、咳・のどの痛み・下痢の症状がある場合は、当日の別室受験とする予定ですが、症状が重いと判断される場合などには、代替措置を講ずる予定です。

なお、事前に上記のような症状がある場合は、新型コロナウイルス感染症の可能性も否定できないことから、代替措置の可否の検討を行います。速やかに（遅くとも試験当日の試験開始時刻までに）メールにて言語社会研究科事務室に連絡してください。ただしこの場合には、試験当日の日付を含む医師の診断書を後ほどご提出ください。

●新型コロナウイルス感染症の一層の拡大傾向が認められる場合

第1次試験（筆記試験）を実施せず、書類選考に変更する可能性があります。その際は、募集要項に書かれている提出物に基づき、選考を行います。

第2次試験（口述試験）をオンラインで実施する可能性があります。試験時間内に外国語試験（外国人留学生は日本語）を実施します。試験を行う外国語は、志願票と研究計画書等の出願書類を参考に入試委員会が決定します。

<連絡先>

一橋大学大学院言語社会研究科事務室（lan-km@ad.hit-u.ac.jp）